



2002

明るい人権の町づくり大会

5月11日(土)、松前総合文化センターで松前町教育委員会主催・松前町同和対策協議会・企業連合会松前支部・松前町同和教育協議会共催の「2002明るい人権の町づくり大会」が約400名の参加者のもと開催されました。

松田同和对策協議会会長の開会の言葉に続き、主催者を代表して、赤星教育長から、「思いやりとぬくもりのある差別のない町づくりを実現するため、町民総ぐるみで人権・同和教育を推進していこう。」という決意を込めたあいさつがありました。

来賓の白石町長から「義農精神を盛り込んだ『松前町思いやりとぬくもりのある人権尊重の町づくり条例』の施行の趣旨、行政の責務として人権・同和問題にかかわるあらゆる差別を根絶していこう。」という力強い祝辞をいただきました。

三好町議会議長、亀岡県同和教育協議会会長代行からご祝辞をいただきました。また、県からは、春田社会教育課長のご出席をいただきました。

次に、永年にわたって人権・同和教育の推進に多大の貢献をされた方に感謝状と記念品が贈られました。



▲表彰を受ける山本宗一氏(右)

受賞者
前青少年補導センター所長
山本 宗一 氏

▼松前小学校の皆さんによる熱演



開会行事に続き、松前小学校の児童による人権啓発劇「咲かせたい、みんなの花を」では、なわとびや3人4脚を通して友達の花が広がっていくまでを演じていただきました。

「人権をくらしのなか」

今野 敏彦 氏

(東海大学教育研究所教授)



日本人の多くは、「人権は難しいもので、専門家にまかせておけばよい。」と考えているようです。

確かに人権は、誰もが持っている一個の人間としての尊厳を、お互いに大切にすることからはじまります。人にはそれぞれ、性別、年齢、職業、宗教、言語、国籍、人種、背の高さ、ものの考え方などさまざまな個性があり、それらの違いをお互いに認め合い、尊重し、とりわけその違い(個性)を楽しめることが大切なのです。

人権は日常的に、身のまわりで常に問題とされ、実践される必要があります。人権は難しいものではありません。人を分けへだてなく、平等に扱うことです。だれにでもやさしく思いやりをもって接することなのです。